

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター新生児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、お子さんがこの研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、お子さんの診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも保護者の方やお子さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 挿管歴のない新生児期の正期産児に行った喉頭気管気管支鏡検査の臨床的特徴

[研究対象者]

2022年1月～2026年3月までの間に、東京女子医科大学附属足立医療センター新生児科にて日齢28以内に喉頭気管気管支鏡検査を受けられた正期産のお子さん

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、頭囲、胸囲、在胎週数、出生体重、アプガースコア、分娩様式、診断名、バイタルサイン、身体所見、診療情報提供書の内容、診療経過、血液ガス分析、血算生化学等の臨床検査データ、胸部単純レントゲン写真、胸部単純CT、胸部造影CT、頭部MRI、呼吸機能データ、喉頭気管気管支鏡検査データ、SpO2連続記録解析データ、外科的処置の記録

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

新生児・小児において喉頭気管気管支鏡検査は気道病変の評価目的に行われる検査ですが、過去に発表されているデータは早産に伴う慢性肺疾患を合併していたり、気管挿管に伴う合併症や新生児期を過ぎた乳児期のものが多く、挿管歴のない新生児期の正期産児に行った喉頭気管気管支鏡検査をまとめた報告はありません。当院では喉頭気管気管支鏡検査を数多く行っており、当院でのデータを用いてこのようなお子さんの気道病変の症状や内訳、治療や経過などを研究することで、今後の管理に有用である可能性があります。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科 臨床教授 山田洋輔

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科 臨床講師 和佐正紀

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9 時～16 時）